

緑の基本計画第1次実施計画 実績値評価

基本方針	基本施策	数値目標	R 1 年度 実績値	R 2 年度 実績値	R 3 年度 実績値	R 4 年度 実績値	R 5 年度 実績値	R 6 年度 実績値	R 7 年度 実績値見込み	計画目標 (年次)	担当	備考	
1. 豊かな緑や水辺を大切に「守り」「育む」(緑地の保全・活用)	(1) 森林・樹林地の保全と活用	間伐事業実施面積	135.8ha/年	229.5ha/年	215.24ha/年	152.9ha/年	145.4ha/年	156.88ha/年	150ha/年	200.0ha/年	農林振興課	・主に林業経営体の経営努力により、森林経営計画の認定面積及び施業面積が好調に推移したが、目標に達しなかった	
	(2) 農地の保全と活用	耕作放棄地解消面積	2.7ha/年	7.3ha/年	1.6ha/年	3.5ha/年	5.1ha/年	0.47ha/年	2.46ha/年	7.0ha/年	農林振興課	・農業委員及び最適化推進委員による農地パトロールや草刈り保全の依頼により営農再開や保全管理がなされ、解消されているものの、目標には達しなかった。また、耕作放棄地の解消要因として農地転用が行われたものもある	
	(3) 水辺の保全・活用	自然環境に考慮したブロックの整備カ所数	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	1カ所/年	0カ所/年	1カ所/年	建設課	・令和7年度は護岸ブロックの整備を実施しなかった	
2. ゆとりと潤いのある空間を「増やす」(緑地の整備・創出)	(1) 身近な公園の整備・充実	身近な都市公園の新規整備件数	0公園	0公園	0公園	1公園	0公園	0公園	1公園	2公園	みどり公園課	・新規の公園として、ミライエート御宿公園と駅西公園を整備した	
	(2) 地域の拠点となる公園・緑地の整備	地域の拠点となる都市公園の新規整備件数	0公園	0公園	0公園	0公園	0公園	0公園	0公園	1公園	みどり公園課	・須山地先に新規の公園の整備を推進していく	
	(3) 水と緑のネットワークの形成	水と緑のネットワークの整備延長	0m	197m	577m	863m	920m	1,014m	1,014m	1,463m	都市計画課 駅周辺整備課	・裾野駅西土地地区画整理事業全体の進捗を図る観点から令和7年度末での達成は困難だが、計画目標に向けて事業を継続している	
3. 緑豊かなまちづくりを「ともに進める」(緑化の推進)	(1) 公共施設の緑化の推進	グリーンバンク事業の利用面積(公共施設)	1.6ha/年	1.3ha/年	1.19ha/年	1.07ha/年	1.10ha/年	1.2ha/年	1.04ha/年	1.5ha/年	農林振興課	・グリーンバンク制度を活用する団体が増加したものの、公共施設に植栽した種子等の栽培管理の労力負担が大きいため、計画目標に達しなかった	
	(2) 民有地の緑化の推進	住宅地開発による緑地の創出件数	1件/年	4件/年	1件/年	1件/年	1件/年	3件/年	4件/年	3件/年	都市計画課	・市街地等における低・未利用地の活用促進のため、必要な助言・指導を行ったこと等が影響し、達成したものと判断する	
		住宅地開発の緑地率3~6%の達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	都市計画課	・裾野市開発行為等の手引き、裾野市土地利用事業に関する指導要綱のとおり運用しているため目標を達成した	
	(3) 工場・研究所等緑化の推進	工場開発による緑地の創出件数	3件/年	1件/年	0件/年	1件/年	0件/年	1件/年	1件/年	1件/年	都市計画課	・市街地等における低・未利用地の活用促進のため、必要な助言・指導を行ったこと等が影響し、達成したものと判断する	
		工場開発の緑地率6%の達成率	100%	100%	0%	100%	0%	100%	100%	100%	都市計画課	・裾野市開発行為等の手引き、裾野市土地利用事業に関する指導要綱のとおり運用しているため目標を達成した	
	(4) 市民参加の公園づくり等への支援	市民参加により維持管理している公園数(裾野市きれいなまちづくり推進事業)	6公園/年	7公園/年	7公園/年	8公園/年	8公園/年	9公園/年	9公園/年	9公園/年	9公園/年	自治振興課	・5団体9カ所実施。ここ数年は活動団体数に変更なし
	(5) 市民活動による公園の維持・管理の推進	公園等の維持管理に関する新規協定締結数	4公園	11公園	11公園	2公園	0公園	1公園	0公園	6公園	6公園	みどり公園課	・地元地区や地域活動団体との維持管理協定を順次締結してきたが、協定可能な新たな団体の確保が難しく、目標達成が困難となった
(6) 市民活動の育成と支援	グリーンバンク制度を活用している市民団体数	30団体/年	28団体/年	29団体/年	31団体/年	39団体/年	39団体/年	43団体/年	30団体/年	30団体/年	農林振興課	・グリーンバンク制度について、HP等による周知活動を実施したことにより、市民団体等の緑化活動に対する関心が高まり、計画目標を達成することができた	
4. 新たな役割分担で「活かす」(緑地の活用)	(1) 農に参加する機会の創出	農業体験の開催件数	3回/年	2回/年	0回/年	1回/年	1回/年	1回/年	2回/年	3回/年	農林振興課	・当初計画では4回を予定していたが、うち1回が悪天候により中止に、1回が実施圃場の状況から草取り作業が不要となったため、2回の実施となった	
	(2) 新たな緑の空間づくりの仕組み	パノラマロード花畑の作業参加者数	544人/年	244人/年	396人/年	422人/年	306人/年	286人/年	280人/年	650人/年	農林振興課	・令和元年度以前は会員以外の市民ボランティアを広く募集していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大以降、会員のみで作業を実施していたため、計画目標に満たなかった。また、賛同団体の参加者数も令和元年度以降減少している	
	(3) 身近な公園・広場の利活用	都市公園におけるイベントの開催件数	8回/年	3回/年	1回/年	9回/年	19回/年	5回/年	11回/年	10回/年	みどり公園課 産業観光スポーツ課 生涯学習課	・新型コロナウイルス感染症の影響の緩和に伴い、例年開催していたイベントの再開や市民活動団体によるイベントの開催が活発化している	